

ファイナル・レポート

2011.01.31

GLASSPEX INDIA 2011

第2回インド国際ガラス製造・加工・製品展

成功をおさめ終了

2011年1月12日～14日インド・ムンバイの Bombay Exhibition Center で開催された第2回国際ガラス製造・加工・製品展 GLASSPEX INDIA 2011 には 4,072 人の業界関係者が来場した。この数字はインドにおいてガラス産業に対する関心の高さを示していると言える。前回の来場者数は 3,200 人で、前回は約 27% 伸びたことになる。

今回の GLASSPEX INDIA はデュッセルドルフで 2 年に一度開催される同じテーマの見本市 glasstec とその後援団体のサポートを得て開催されたが、19 ヶ国から、176 社が出展参加した。出展者数は前回の 2009 年度に比べ約 25% を伸びている。GLASSPEX INDIA は、ガラス製造から、ガラス加工やガラス応用まで、ガラスのバリューチェーンが幅広く扱っている。(出展者リストは [こちら](#) でダウンロード)

「インド市場には、ガラス需要の急増が予想される。今回の GLASSPEX INDIA は、今回の出展者に実際のビジネスにつながる多くの商談をもたらした。見本市自体も前回開催からさらに成長しているので、今後も機械メーカーにとってインドはポテンシャルの高い市場だろう。」と後援ドイツ産業機械工業会 VDMA の代表がコメント。

併催プログラムとして、[2nd Glass Performance Days India \(GPD\)](#) が会期中 2 日間開催され、ガラス建築、板ガラスやソーラー技術などのテーマが取扱われ 100 人を超す専門家が参加した。

また、国際ガラス製造・加工機材とソーラー装置製造技術との二つの業界を結ぶコンGRESS「[1st Solar Industry Summit India](#)」が 1 月 13 日に開催された。デュッセルドルフで昨年 9 月に開催された国際ソーラー装置製造技術展 solarpeq の会期中に「solar meets glass」併催され好評を得た専門コンファレンスで、同じパートナーである Solarpraxis と協同し今回初めてインドで行なったものである。このコンファレンスでは製造工場の構築やファイナンス、製造技術やソーラーの世界市場の最新トレンドがテーマとなった。また前回好評であった建築家、建築技師向けのフォーラム「glass technology live goes India」も、第二回目としてインドで開催された。

次回 [GLASSPEX INDIA](#) は 2013 年 3 月 20 日～22 日にムンバイで開催される予定。

詳細情報についてはメッセ・デュッセルドルフ・ジャパンまでお問い合わせ下さい。

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

A.ユング担当

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ・ガーデンコート 7F

T: 03-5210-9951 F: 03-5210-9959

jung@messe-dus.co.jp

www.messe-dus.co.jp

